

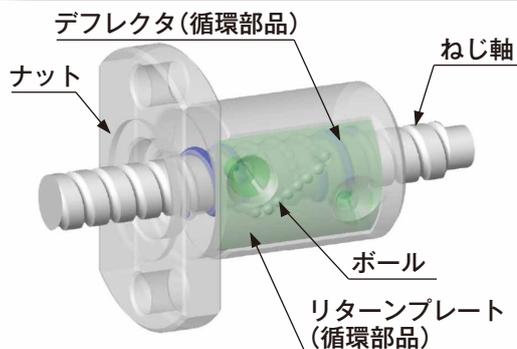
KSS メールマガジン

今回のテーマ

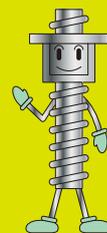
ボールねじの中身ってどうなっているの???



普段ボールねじを使っている方、
ボールねじを初めて見る方も含め、
ボールねじの内部がどうなっているかご存知ですか？
ボールねじは、ねじ軸とナットの間をボールが転がって
いますが、そのボールをナットからこぼれ落ちないように無限循環させる部品(これを循環部品といいます)が
組み込まれているのです。



これらの部品を熟練した職人が組付けています。



組付の様子

動画
形式 mp4

実際に組付けられたボールねじを動かすと
ナット内のボールはどのように循環するのでしょうか？
スケルトンでナットを製作してみました。

ボールねじ
循環の様子

動画
形式 mp4



KSS はミニチュアボールねじの専用メーカーですから、必然的に使用するボールも小さくなります。最小のボールは直径が **0.4mm** です。シャープペンシルの芯の直径が 0.5mm なのでそれより小さい球になります。こんな小さいボールを組付けているので、職人しかできない技と言えます。



KSS では、ねじ軸の直径がφ1.8～φ16mm までのミニチュアボールねじを専門に製作し、40年近くが経過しました。
今までに培った技術とノウハウで、皆様のお役に立てると確信しています。是非一度ご検討ください。



ケーエスエス株式会社
www.kss-superdrive.co.jp

お問い合わせはこちら
sales@kss-superdrive.co.jp
TEL. : 03-3756-3921 FAX. : 03-3756-3232